

平成31年第1回教育委員会会議録

日 時	平成31年1月30日（水）13時30分開会 15時00分閉会
場 所	教育長室
出席委員	教育長 宮 崎 肇 委員 佐々木 義 朗 委員 荒 井 由紀恵 委員 橋 場 正 人 委員 吉 村 恭 子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 澤 田 徹 教育部次長 千 田 義彦 教育部学校指導室長 小 松 義幸 企画総務課長 伊 藤 樹美 学校教育課長 高 橋 裕輔 生涯学習課長 小野寺 康 広 学校給食センター長 森 井 茂 学校指導課長 佐 藤 貢
書 記	企画総務課総務係長 田 中 稔 大
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

1 第1回教育委員会会議付議事件及び結果表

平成31年1月30日（水）13時30分開会

15時00分閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	平成30年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について	原案可決
議案第2号	千歳市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第3号	千歳市奨学生選考基準の一部を改正する訓令の制定について	原案可決
議案第4号	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第5号	平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について	原案可決
報告第1号	平成30年度千歳市学力向上検討委員会の取組について	報告済
報告第2号	平成31年千歳市成人式「はたちのつどい」の実施結果について	報告済

2 議題及び会議の概要

教育長	<p>それでは、平成31年第1回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>日程2 会議録の承認について、お願いします。</p>
総務係長	<p>平成30年12月26日に開催されました平成30年第14回教育委員会会議は、議案が3件、報告が2件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 千歳市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、議案第2号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法等について、議案第3号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>また、報告につきましては、報告第1号 平成31年千歳市成人式「はたちのつどい」について、報告第2号 平成30年度におけるいじめの把握のための調査（道調査第1回）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査第1回）結果について、報告済みとさせていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは、日程3 教育長の報告です。</p> <p>お手元の定例校長会資料をご覧くださいと思います。</p> <p>（資料に沿って、次の内容について説明）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習規律の定着100%を達成すること（平成31年重点取組事項） 2. 指導が立ち行かない学級0を達成すること（平成31年重点取組事項） 3. 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 4. 学校における働き方改革の推進について 5. 交通事故、交通違反の未然防止の取組について 6. 平成31年度当初人事 7. 学校給食費収納業務への協力について <p>その他連絡事項は、記載のとおりです。</p> <p>私からの報告は以上となります。これについて、何かご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
教育長	<p>それでは、日程4 議案に入ります。</p> <p>議案第1号 平成30年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、</p>

<p>企画総務課長</p>	<p>説明をお願いします。</p> <p>議案第1号 平成30年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、ご説明申し上げます。</p> <p>提案理由であります。平成31年千歳市議会第1回定例会において、予算を補正するため、本案を提出するものであります。</p> <p>はじめに企画総務課分です。1点目の寄附金 奨学金についてであります。</p> <p>補正項目は、歳入につきましては、18款1項1目1節の寄附金に7,927千円を追加し、歳出は、10款1項1目25節の積立金に7,927千円を追加するものであります。</p> <p>補正の理由につきましては、寄附採納があったことから、奨学基金に充当するため関係する歳入及び歳出予算を補正するものであります。</p> <p>補正の内容であります。歳入の寄附金につきましては、平成30年10月16日から平成31年1月11日までに寄附採納があった213件、7,927,790円を寄附金として増額補正するものであります。</p> <p>また、歳出の積立金につきましては、歳入予算として増額補正する寄附金額7,927,790円全額を奨学基金積立金として積立てるため増額補正するものであります。</p> <p>参考として、奨学基金への寄附採納の状況、平成31年第1回定例会補正後の基金残高、寄附採納の内訳を掲載しております。</p> <p>次に2点目、小中学校校務用パソコン等購入事業であります。債務負担行為の限度額を表のとおり変更するものです。</p> <p>補正の理由につきましては、入札により契約額が確定し、差額が生じたため、債務負担行為の限度額について補正を行うものです。</p> <p>補正の内容であります。平成31年度から34年度の4か年で債務負担行為を行っている小学校及び中学校の校務用パソコン等購入事業について、入札により契約額が確定し、差額が生じたため、債務負担行為の限度額について、減額補正を行うものです。</p> <p>続いて、学校給食センター長から説明がございします。</p>
<p>学校給食センター長</p>	<p>続きまして、3 給食提供業務経費 需用費についてご説明いたします。</p> <p>補正項目は、歳出で、10款6項2目給食センター費に3,352千円を追加するものであります。</p> <p>補正理由であります。学校給食センターでは、A重油を使用する蒸気ボイラー及び温水ボイラーを設置し、学校給食の調理、食器食缶等の洗浄及び消毒に、お湯や蒸気を使用しているほか、施設の暖房に使用しております。</p> <p>平成30年度当初予算において、A重油の単価を75.60円、年間購入量18万5千リットルを見込み、13,986千円を計上しておりましたが、</p>

	<p>平成30年度のA重油燃料の高騰等により、平成30年度末には3,351,240円の不足が見込まれることから、歳出予算を補正するものであります。</p> <p>補正内容であります。不足見込額について記載のとおり算定し、給食提供業務経費 11節 需用費の燃料費について、3,352,000円の増額補正を行うものであります。</p> <p>なお、次頁に別記として、月ごとの使用数量と単価等の状況を掲載しておりますのでご覧ください。</p> <p>以上、提案内容についてご説明申し上げます。</p> <p>ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>
教育長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、議案第1号につきましては、ただ今の内容で決定することといたします。</p> <p>続きまして、議案第2号 千歳市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第2号 千歳市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由であります。奨学生願書及びその添付書類を改めるため、本案を提出するものであります。</p> <p>現在の奨学生選考基準には、身体に関する選考基準の検討のため、「学校健診記録書」の添付を求めています。同じく添付書類としている学校長からの「奨学生推せん書」において修学に耐えられるか否かの記載があることから、「学校健診記録書」を削除し、併せて「奨学生願書」の様式を改めるものです。</p> <p>改正の内容につきましては、資料の新旧対照表で、ご説明いたします。</p> <p>第2条第1項第3号中「過去」を「最近」に改め、第5号の「学校健診記録書」を削除して、第6号、第7号を1号繰り上げる。</p> <p>様式第4号を削除したことにより、第6条以降の様式を各1号繰り上げます。</p> <p>様式第1号の奨学生願書を志願者が記載しやすいよう改めます。</p> <p>様式第4号「学校健診記録書」の様式は削除し、様式第4号を削除したことにより、様式を各1号繰り上げます。</p> <p>議案第2号の説明は以上です。</p>

教育長	<p>関連がありますので、議案第3号 千歳市奨学生選考基準の一部を改正する訓令の制定について、引き続き説明をしてください。</p>
企画総務課長	<p>引き続き、議案第3号 千歳市奨学生選考基準の一部を改正する訓令の制定について、ご説明いたします。</p> <p>提案の理由ですが、千歳市奨学金制度の選考基準等について所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うため、本案を提出するものです。</p> <p>今回の選考基準等の見直しにより、学資の支弁が困難であると認める収入の基準額を公益財団法人北海道高等学校奨学会の収入基準額表の収入基準額に1.5倍を乗じた額以下であることとしました。また、他の子女の在学条件による留意点など不要となる規定を削除し、条文の整備を行うものです。</p> <p>改正の内容につきましては、資料の新旧対照表でご説明いたします。</p> <p>第5項第2号ア中「うけている」を漢字に、「支弁困難」を「支弁が困難」に改め、同号イを「総所得金額が、公益財団法人北海道高等学校奨学会の収入基準額表の収入基準額に別に定める倍率を乗じた額以下である場合は、学資の支弁が困難と認められること。」に改め、第5項第2号ウを「家族の中に収入を有する者があつて世帯の収入総額がイに定める額を超える場合は、扶養者の収入が少ない場合でも学資の支弁が困難であるとは認められないこと。」に改め、第5項第3号を削るものです。</p> <p>以上、議案第3号について、ご説明申し上げます。</p> <p>よろしくご審議、ご決定いただきますようお願いいたします。</p>
教育長	<p>ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。</p> <p>よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、ただ今の内容で決定することといたします。</p> <p>続きまして、議案第4号 千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>議案第4号 千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則について、ご説明いたします。</p> <p>提案理由ではありますが、「道徳の教科化に伴い、千歳市立学校管理規則第27条に基づく指導要録の様式に所要の改正を行うため、本案を提出する」ものであります。</p> <p>改正の内容ではありますが、小中学校において児童生徒の出欠の状況や教科の学習の状況などを記録する「指導要録」の様式が、千歳市立学校管理規則</p>

	<p>で定められておりますが、このうち、第10号様式の1は小学校の通常学級に在籍する児童、第10号様式の2は中学校の通常学級に在籍する生徒、第10号様式の3は小学校の知的障害学級、情緒障害学級に在籍する児童、第10号様式の4は中学校の知的障害学級、情緒障害学級に在籍する生徒、第10号様式の5は小学校の肢体不自由学級等に在籍する児童、第10号様式の6は中学校の肢体不自由学級等に在籍する生徒の状況を記録する様式となっております。</p> <p>平成30年度からは小学校において、平成31年度からは中学校において道徳が正式教科になることから、その評価を行う必要が生じたため、指導要録の様式に所要の改正を行うものであります。</p> <p>議案に改正後の様式を掲載しておりますが、それぞれ、特別の教科 道徳の「学習状況及び道徳性に係る成長の様子」が記載できるようになっております。また、資料として、改正前の様式との新旧対照表を掲載しております。</p> <p>説明は以上でございます。よろしくご審議、ご決定をいただきますようお願いいたします。</p>
教育長	<p>ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
教育長	<p>それでは、ただ今の内容で決定することといたします。</p> <p>続きまして、議案第5号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>議案第5号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、別冊のとおり公表いたします。</p> <p>提案理由であります。平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、本市における体力向上の取組の成果と課題及び今後の取組について、地域や保護者への説明責任を果すため、本案を提出するものであります。</p> <p>公表に当たっては、市全体の調査結果を、数値を用いて、昨年度の結果と比較しながら公表し、結果分析と今後の取組についても、併せて公表します。</p> <p>なお、学校ごとの公表は、学校の序列化や学校間の過度な競争が生じる恐れがあること、小規模校では個人が特定されることから、教育委員会としては、学校ごとの公表は行わないことといたします。</p> <p>公表予定時期は平成31年2月上旬を予定しております。</p> <p>それでは、公表の概要についてご説明いたします。</p>

別冊「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要」をご覧ください。

まず、調査の概要であります。

本調査は、小学校第5学年及び中学校第2学年を対象としたものであります。8種目の実技に関する調査、児童生徒質問紙調査、学校に対する質問紙調査からなるもので、昨年4月から7月末までの間で実施しております。

今年度も本市においては全小・中学校が参加しております。

次に結果の要約を掲載しております。実技に関する調査では、小学校男子と女子、中学校男子が全国を上回り、昨年度課題となっていた中学校女子についても向上が見られ、全国平均に届かなかったもののその差が縮まりました。この後、個別に概要をご説明いたします。

続いて、小学校男子の実技検査の結果をまとめております。中段に表がございますが、赤線で囲んでいる行が本市児童の結果です。

全国を上回った種目には黄色の網掛け、全国平均と同様の結果のものにはオレンジ色の網掛けを施しています。小学校男子は、8種目中6種目で全国を上回っており、結果が良好であることがお分かりかと思えます。

一段下がりましたところには、縦の棒グラフがございます。これはT得点という全国を50とした数値について経年でみたものであります。握力や立ち幅跳び、ソフトボール投げは過去4年間全国を上回っており、安定した力が身に付いているといえます。さらに、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルランについても2年連続で全国を上回っており、これらのことから、各校の体力・運動能力の向上に向けた取組が定着してきたことが窺えます。一方で長座体前屈と50m走については全国との差が広がり、柔軟性や疾走能力の向上に引き続き取り組んでいく必要があります。

一番下の帯グラフは体力総合点を5段階で示し、全国や北海道と比較したものです。Aは運動能力が高い段階、Eはその逆の段階となりますが本市の帯グラフからはAB段階の児童の割合が増え、DE段階の児童の割合が減少していることが読み取れます。

続いて小学校女子です。小学校女子は、握力、上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げの5種目で全国を上回り、体力合計点もT得点で50.2となっており、本調査が悉皆調査となって以降初めて全国を上回りました。一方、50m走は前年度を1.8ポイント下回り全国との差が広がりました。

続いて中学校男子です。中学校男子は、握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び、ハンドボール投げの5種目で全国を上回り、体力合計点もT得点で51.6となっており、全国を上回りました。一方で20mシャトルランと50m走については前年度を上回り、全国との差は縮まっておりますが、依然として全身持久力、疾走能力の向上に課題が見られます。

続いて中学校女子です。中学校女子は、握力、長座体前屈、ハンドボール投げの3種目で全国を上回り、上体起こしは全国と同様となっております。また、全ての種目で前年度のT得点を上回るとともに、全道を上回っております。男子と同じように、全身持久力、疾走能力の向上に課題が見られます。

続いて、体格と肥満度に関する調査結果が記載されております。身長も体重も全国との比較では上回っている状況です。詳しくは後程ご覧ください。

続いて、児童生徒質問紙調査の結果を記載しております。結果から見える傾向として、小中学校ともに、毎日、朝食や夕食を食べていると回答した割合が、男子は全国よりやや低いか同様であるのに対し、女子は全国を下回っている状況が見られます。また、睡眠時間については、男女とも全国を上回っており、良好な状況が見られます。一方でテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間については、3時間以上と回答した児童生徒の割合が男女とも全国を上回っており、本市の児童生徒はメディアの視聴時間が長時間に及んでいる状況が見られます。

次に、運動習慣の状況を記載しております。小学校では、平日に運動やスポーツをする時間が男女ともに全国を上回っており、1週間の総運動時間も全国を上回っております。課題は土日の運動時間が短いことです。中学校については、部活動がない水曜日と土曜日以外の曜日の運動時間は全国を上回り、1週間の総運動時間についても男女とも全国を上回っています。しかし、運動部やスポーツクラブに所属していない生徒の割合は、全国より高い状況が続いています。

小学校で体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合が男女とも9割を超え、全国を上回っています。同じく中学校でも保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒の割合が男女ともに増加し、全国を上回りました。各校の体育の授業改善の取組の成果が表れていると考えられます。

次に、学校質問紙の調査結果を掲載しております。特徴的なこととして、「学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定している」と回答した学校の割合が小中学校ともに100%となっており、全校体制で積極的に体力向上の取組を進めている状況が見られることです。しかし、体育の授業の取組については、児童質問紙と学校質問紙の結果が異なり、小学校では特に児童と学校の意識の差が見られます。一方、中学校については、生徒と学校の意識の差は解消されてきています。

最後ですが、本市の学校教育基本計画を踏まえた児童生徒の体力・運動能力の向上に関わる今後の取組について、6点にわたって記載しています。特に「2 体育・保健体育の授業の改善」では、今後も運動習慣の定着に向けて「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答する児童生徒の割合を増やすとともに、「目標を示す」「1時間の授業を振り返る活動を取り入れ、「わかる」

	<p>「できる」ことにつながる授業展開が期待されます。</p> <p>また、「5 中学校区の共通課題の解決を目指す取組の推進」では、今年度から取り組まれている「小中連携・一貫教育」調査研究事業と関連し、中学校の体育教員が走り方やボールの投げ方を指導する出前講座や新体力テストの合同実施などを通して特定の実技種目の伸びが見られました。さらに、体力・運動能力調査の結果の共有なども行いながら、小中連携の取組を積極的に推進していくことが望めます。</p> <p>以上、第5号議案についてご説明いたしました。本調査結果の公表につきまして、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
教育長	ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
吉村委員	走力が課題ということで、やはり走らないとだめですね。冬は走ったりしていますか。
教育長	昔は、雪上サッカーを公園でしていましたが、今はあまりしていないようですね。スケートはしていますが、走るのとは少し違いますかね。
学校指導室長	今は、冬は公園を閉鎖していますので、使用しないこととしています。
吉村委員	そうですか。子どもたちが、冬に走るのには、サッカーが良いと思いますけどね。
教育長	あとは、よろしいですか。
委員	一同了承（原案可決）
教育長	<p>それでは、ただ今の内容で決定することといたします。</p> <p>続きまして、日程5 報告に入ります。</p> <p>まず。報告第1号 平成30年度千歳市学力向上検討委員会の取組について、説明をお願いします。</p>
学校指導課長	<p>報告第5号 平成30年度千歳市学力向上検討委員会の取組について、別冊のとおりご報告いたします。</p> <p>お手元の報告書をご覧ください。本報告書は、昨年12月20日に千歳市学力向上検討委員会委員長である祝梅小学校 吉田校長から教育長に提出されたものであります。</p> <p>今年度は、これまでの報告書の構成、提出の在り方などを変更したことか</p>

ら、その変更点とその理由について簡潔に説明いたします。

まず、はじめに「学力についての基本的な考え方」についてであります。平成24年度の設置以降、本検討委員会では、「学力」を「学ぼうとする力」、「学ぶ力」、「学んで得た力」と押さえ、本市の児童生徒の学力の状況を分析してきたところであります。「学ぼうとする力」は児童生徒質問紙から、「学ぶ力」は活用を問うB問題から、「学んで得た力」は知識を問うA問題の結果を用い、全国学力・学習状況調査結果をエビデンスとして報告書をまとめてまいりました。

しかし、次年度以降の全国学力・学習状況調査からA問題、B問題の区分がなくなることが明らかになりました。これは、学力が基礎的なものと発展的なものとが重層的に組み立てられたものではなく、実際の課題解決においては、基礎的な知識と活用的な力が同時に発揮されるものであるという捉えがあると本検討委員会では、押さえたところであります。

このことを踏まえ、また、次期学習指導要領が告示され全面実施を控えた今、本検討委員会の「学力」の押さえ方を見直すことといたしました。

「学力」の押さえとして根拠としたのが学校教育法であります。同法に規定されている「基礎的・基本的な知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の三つを「学力」と押さえ、新しい学習指導要領において示されたこれからの時代に求められる資質・能力の三つの柱である「知識・理解」、「思考力、判断力、表現力」「学びに向き合う力、人間性」との関連において、整理し直すことといたしました。

次に、報告書の提出時期についてであります。これまで、本報告書は2月下旬から3月に教育長に提出しておりました。しかし、この時期の提出では、全国学力・学習状況調査を実施した4月から相当の期間が経過してしまっていること、また、次の実施される全国学力・学習状況調査が実施される4月に向けての提言となりえていないという課題がありました。

そこで、報告書の提出時期を早め、各学校が速やかに本検討委員会の提言に正対した取組を開始することで、学力の定着及び向上に資することといたしました。

次に、提言の内容についてであります。これまでは、全国学力・学習状況調査結果を受けて「学力向上に向けた課題」を明らかにし、これを踏まえて「三者への提言」を行ってきましたが、この流れでは提言の時期が相当遅れるという課題がありました。また、提言が学校で確実に実行され、定着するためには、もう少し長いスパンで取り組む必要があると考えたところであります。

「千歳市学校教育基本計画」が平成30、32、32年の3か年で完結することもあり、向こう3年間をスパンとして提言を設定し、計画的に各学校の進捗状況を評価していくことといたしました。

提言内容につきましては、「学校への提言」として「ハイパーQ U検査を活用した学年・学級経営の充実」など5つ、「家庭への提言」として「千歳市家庭生活宣言」運動の普及など2つ、「教育委員会への提言」として「ICT機器の整備と活用」など4つ、合わせて11の提言をしております。

それでは、平成30年度千歳市学力向上検討委員会の重点的な取組について、ご説明いたします。

本検討委員会では、昨年度に引き続き、日の出小学校、北陽小学校、泉沢小学校、富丘中学校、北斗中学校の5校を学力向上のモデル校として選定し、学校改善プランの進行管理を通した各校独自の課題解決とともに、本検討委員会の「学校への提言」を踏まえた授業改善に取り組んでまいりました。

市内各小中学校が実態に合わせて学校改善に役立てることができるよう、モデル校各校の優良実践を一般化し、大項目4点に整理しています。

まずは、授業の中で対話したり、問題を解いたり、文章を書いたりする「アウトプットを増やす」取組として富丘中学校、北斗中学校の実践、2つ目として、「中・上位層の引き上げ」の取組として日の出小学校、北陽小学校における習熟度別少人数指導の実践、3つ目として、「振り返り・学び直し」の取組として泉沢小学校、日の出小学校、北斗中学校の取組、最後に4点目として、「組織マネジメントによる改善プラン」の実現として北陽小学校と富丘中学校の取組について紹介しております。

先日行いました校長会議、教頭会議にて学校指導室長から説明するとともに、市教育委員会のホームページへの掲載などを通して、周知及び指導・助言に努めてまいります。

続いて、「平成30年度全国学力・学習状況調査結果の分析・考察」ではありますが、昨年7月18日開催の第8回教育委員会会議及にてご報告した内容でありますので、本日は説明を省かせていただきます。

続いて、千歳市学力向上検討委員会提言に対する取組状況アンケートの結果分析を通して、本市の学力向上における課題を整理しております。

経年で学校の取組状況を把握し改善につなげることは勿論であります、新学習指導要領の全面実施を目前に控えていることから、これからの子どもたちに求められる資質・能力の育成という観点から、新たに設問を増やしました。また、これまでの内容を改訂し、学校に質問している項目もございません。

例として、提言2の「自尊感情や自己有用感を高める取組の充実」の設問6では、子どもたちの学校生活の大半を占める授業の中で「できた」「わかった」という実感を味わわせ、自分の成長に気づかせる意図的な取組について、今年度新たに質問をしています。

アンケート結果の中に肯定的ではない回答をした学校が見られますが、多くの場合、管理職の異動により、新たな視点で本校の実態を見つめた際に、

	<p>「まだ、これから」と判断されている場合が多く、今後、学校指導室としてしましても、協働して学校改善に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>続いて、家庭、教育委員会に対する昨年度末提言を受けた現状について記されております。</p> <p>家庭の取組状況に記されている「千歳市家庭生活宣言」につきましては、千歳市PTA連合会と市の協働事業としての取組も2年目となり、講師を招いての学習会の開催など、精力的かつ草の根的な活動を継続されているところです。</p> <p>教育委員会においては、恵まれた教育環境の整備に対する感謝とともに、今後も継続した取組を望む内容が記されております。</p> <p>続いて、最後の章として「成果の検証」について、記載しております。本検討委員会が設置以来提言を重ねてまいりました「小中9年間の積み上げによる確かな学力の定着」と「学校・家庭・教育委員会の連携協力」について、項立てをしておりますが、今後、この2項目について、「千歳市学力向上検討委員会の提言に関する取組アンケート」結果及び「全国学力・学習状況調査」結果を基に、提言内容の達成状況を検証するということを明記しております。</p> <p>学力向上検討委員会吉田委員長からは、「この報告が有効に活用され、千歳市の学習環境整備の強みを生かしながら、子どもたちが確かな学力を身に付け、健やかに成長していくことを心から期待し、報告書を提出いたします。」との言葉がありました。</p> <p>本報告書を千歳市のホームページ上への掲載、学校指導室による学校訪問、校長会議及び教頭会議での継続的な説明を通して、次年度以降の学校経営、学校運営に役立てていきたいと考えております。</p> <p>以上で、報告を終わります。</p>
教育長	<p>ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。 よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（報告済）</p>
教育長	<p>それでは、報告第1号については、報告済みといたします。 続きまして、平成31年千歳市成人式「はたちのつどい」の実施結果について、説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>報告第2号 平成31年成人式『はたちのつどい』の実施結果について、報告します。資料ご覧ください。</p> <p>「1 日時及び会場」であります。1月13日曜日 14時から北ガス文化ホールを会場に開催いたしました。当日は、ご多用の中、教育委員皆様</p>

	<p>のご臨席を賜り、誠にありがとうございました。</p> <p>「2 当日の参加者」ですが、対象者1, 370名のところ、688名の新成人が参加し、参加率は50%、前年度比較で23名、5.5ポイントの減となりました。</p> <p>続きまして、3の「スローガン」、4の「実施内容」及び5の「結果」についてですが、今年度も新成人の協働会議メンバーが、事前の準備だけでなく式典での役割をも分担し合いました。皆様にご覧いただきましたとおり、司会進行や誓いのことば、協働会議からの報告など、当初の予定通り進めることができました。</p> <p>式典終了後は、4階において新成人の広場や抹茶と和菓子の振舞いが催され、約300人の新成人の来場があり、各所で久々に再会した友人と当時を懐かしむ笑顔あふれる姿が見受けられました。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。 よろしいですか。</p> <p>一同了承（報告済）</p> <p>それでは、報告済みといたします。 これもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。お疲れ様でした。</p>
教育長	
委員	
教育長	